



- 本校へのアクセス
- |           |            |      |
|-----------|------------|------|
| ①岡山空港経由   | 空港からタクシーで  | 約40分 |
| ②JR 経由    | 岡山駅からタクシーで | 約40分 |
|           | 中庄駅からタクシーで | 約10分 |
|           | 倉敷駅からタクシーで | 約15分 |
| ③山陽自動車道経由 | 倉敷I.C.から   | 約 3分 |



## 川崎医科大学附属高等学校

〒710-0002 岡山県倉敷市生坂 1661  
 TEL.086-462-3666 FAX.086-462-7444  
 E-mail highsc@med.kawasaki-m.ac.jp  
<https://s.kawasaki-m.ac.jp>



将来医師になる  
 だからここで学ぶ  
 卒業生の94.2%が医学部に進学

全国で唯一の医科大学附属高等学校

# 川崎医科大学附属高等学校

SCHOOL GUIDE 2024



# かわらぬ思い、このさきも

川崎医科大学附属高等学校は、2020年に創立50周年を迎えました。

これまで『常識を備え、良心的で温かみがあり、信頼される』医療人  
すなわち将来の『良医』を育てる教育の実践に努めてきました。

これからも、かわらぬ思いで、未来の医療を支える人材を育成してまいります。

## 創設の思い

『一生の間で、人格形成を左右する大切な年齢層は高校時代であろう。この年頃に、唯々、大学の入学試験に合格することのみを目標として、受験科目だけに集中した勉強のために心身を損ない、いびつな知識を持った青年が出現しつつあるのは悲しむべきである。医師になるためには、片寄らない均整のとれた心身が必要である。』とは創設者川崎祐宣のことば。  
『常識を備え、良心的で温かみがあり、信頼される』医療人を理想とし、そのために必要な人間性・知性を涵養する教育を実現するため、大学と同時に附属高校を設置し、最も感受性豊かな高校生活からの9年一貫教育を始めたのです。



創設者 川崎祐宣

## 建学の理念

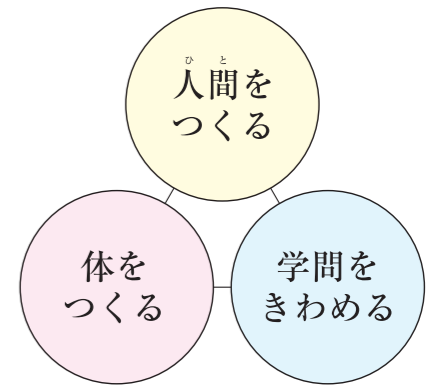
全国で唯一の医科大学の附属高校として、1970年に開校した川崎医科大学附属高等学校。開校以来、次の建学の理念を大切にしています。

- 人間をつくる 豊かな人間性の育成。3年間の寮生活を送ることで、自立心や協調性を育み、将来、医師として求められる人間性を磨きます。
- 体をつくる 健康な体づくり。スポーツを通して心身の健やかな成長を図り、将来、医師として活躍するための体力や人間性を養います。
- 学問をきわめる 学問の研究。川崎学園のネットワークを活用した独自の教育プログラムで、医学を学ぶうえで必要な幅広い知識を修得します。

本校は、この建学の理念を基盤に、将来の『良医』を育てる教育の実践に努めています。

## 高校から歩み始める、『良医』への道。

知性と人間性を磨き、『良医』と呼ばれる医師の基礎を育む。  
それが、私たち川崎医科大学附属高等学校の使命です。



私たちが育てたいのは、将来『良医』と呼ばれるにふさわしい医師。  
どれほどの知識と技術を有していても、  
豊かな人間性と患者さんに対する優しさを備えていなければ  
『良医』とはいえません。  
患者さんとの厚い信頼関係を築き、  
生涯にわたって医師として学ぶ姿勢を持ち続ける。  
それが『良医』の道であると考えています。

川崎学園のネットワークに支えられた実践的な授業、卒業後の確かな進路、  
全寮制による規則正しい生活と学習に集中できる環境。  
これら本校の特色は、決して勉強だけを目的とするものではありません。  
3年間の高校生活を通して、仲間と磨き合い、語り合い、自分と向き合う。  
その過程で「努力」や「我慢」を覚え、「優しさ」や「思いやり」を身につける。  
つまり『良医』となるために最も大切な“人間力”を磨き、  
育むことにあるのです。

夢があれば、確かな目標があれば、人は輝きます。  
だから少しでも早く、自らの夢に気づいてほしいと願わずにはられません。  
本校の3年間で学び、経験することは、あなたの人生を大きく変えるはず。  
私たちは、そう信じています。



理事長 川崎 誠治

岡山大学医学部卒業後、第二外科教室入室。  
同大学附属病院助手、川崎医科大学講師を経て、  
1998年より川崎医科大学副学長、  
同大学附属病院副院長。  
2000年学校法人川崎学園副理事長、  
2012年理事長に就任。日本私立医科大学協会理事。  
岡山大学大学院医学研究科修了。医学博士。



校長 竹田 義宣

広島大学大学院教育学研究科博士課程前期修了。  
1995年岡山県教育センター指導主事、2011年岡山  
県総合教育センター教育経営部長、2015年岡山県  
教育庁高校教育課長、2018年岡山県教育庁参与、  
2019年岡山県立岡山朝日高等学校長、2022年川崎  
医科大学附属高等学校の校長に就任する。

## CONTENTS

- P01・・・建学の理念
- P02・・・あいさつ
- P03・・・川崎学園ネットワーク
- P04・・・教育
- P09・・・寮生活
- P13・・・学校生活
- P15・・・親子トーク
- P16・・・卒業生からのメッセージ
- P17・・・施設紹介

※本校は「新型コロナウイルス感染防止のための行動ルール」を定め、感染防止に努めています。掲載の写真は、撮影時のみマスクを外して撮影したものです。

川崎学園  
ネットワーク  
KAWASAKI GAKUEN NETWORK

充実した  
医学教育の  
ネットワークが  
医師への夢を  
力強くサポート



「学校法人 川崎学園」は、本校のほかに川崎医科大学、川崎医科大学附属病院、川崎医科大学総合医療センター、川崎医療福祉大学、川崎医療短期大学などを有し、医学教育における充実したネットワークを形成しています。この恵まれた教育環境を生かし、本校では川崎医科大学との連携による独自の教育プログラムを構築。大学及び関連施設での実習や大学教員による講義といった体験型授業を1年次から取り入れています。早期から医学の世界に触れ、幅広い実践的な学びによって、生徒一人ひとりが医師への夢を確かなものにし、目標に向かって歩いていく力を身につけます。さらに、川崎医科大学への推薦入試制度により、同大学への進学を力強くサポートしています。

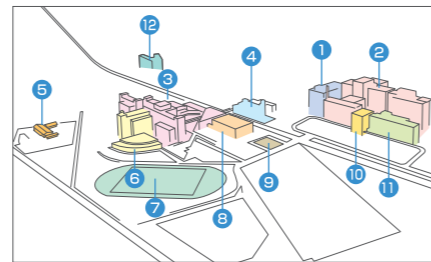
■ 川崎学園ネットワーク

学校法人 川崎学園

- 川崎医科大学
- 川崎医科大学附属病院
- 川崎医科大学総合医療センター
- 川崎医科大学高齢者医療センター  
(2023年9月開院予定)
- 川崎医療福祉大学
- 川崎医療短期大学
- 川崎医科大学附属高等学校
- 幼保連携型認定こども園  
かわさきこども園

学校法人 九曜学園

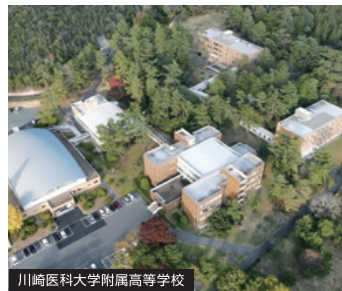
- 専門学校  
川崎リハビリテーション学院



- 1 川崎医科大学
- 2 川崎医科大学附属病院
- 3 川崎医療福祉大学
- 4 現代医学教育博物館
- 5 幼保連携型認定こども園  
かわさきこども園
- 6 川崎祐宣記念講堂
- 7 川崎学園総合グラウンド
- 8 総合体育館
- 9 ヘルポート
- 10 高度救命救急センター
- 11 専門学校  
川崎リハビリテーション学院
- 12 川崎学園学生寮  
このはな寮

■ 川崎医科大学附属高等学校のあゆみ

- |             |                                    |              |                   |
|-------------|------------------------------------|--------------|-------------------|
| 1970年 4月 1日 | 川崎医科大学附属高等学校 開校                    | 1971年 4月 10日 | 倉敷市生坂1661番地に移転    |
| 4月 20日      | 松島校舎(現川崎医療短期大学)で<br>附属高等学校第1回入学式挙行 | 7月           | 体育館・格技場・グラウンド・寮完成 |
| 6月 1日       | 川崎医科大学・川崎医科大学附属<br>高等学校開学式         | 2012年 2月 1日  | 新女子寮竣工            |
|             |                                    | 2017年 4月 1日  | 新男子寮竣工            |



教育  
EDUCATION

9年一貫教育

医科大学へ、  
そして医師に。  
本校で  
夢は確実に  
近づいてくる



本校では全ての生徒が「医師になりたい」という夢に向かい、川崎医科大学への進学をめざしています。その夢を実現するために、しっかりとしたバックアップ体制を整備。進学に必要な学力はもちろん、医師に求められる人間性、将来、現場で活躍できるだけの体力など、「知・徳・体」全ての面で生徒一人ひとりをサポートしています。入試対策にも万全を期し、開校以来、高い進学率を誇っています。

■ 開校以来の進学率

川崎医科大学  
**90.2%**

本校卒業生1,756人中、川崎医科大学への進学者は1,584人(2021年度卒業生まで)で、同大学への進学率は90.2%に達しています。

■ 過去3年間(2020~2022年度)の川崎医科大学入試の倍率

附属高校からの 学校推薦型選抜倍率	一般選抜倍率
<b>1.2倍</b>	<b>20.8倍</b>

受験者数72人	受験者数4,041人
入学者数60人	入学者数194人

川崎医科大学進学を強力にサポートしています。

■ 開校以来の他大学を含む医学部進学率

**94.2%**

■ 高校から大学まで9年間の学びを意識した教育

全国で唯一の医科大学附属高等学校という特長を生かし、本校では高等学校の3年間だけでなく、医科大学での6年間も含めた「9年一貫教育」を実践しています。本校での3年間は、「良医」という目標を意識した教育を展開します。医科大学での授業をはじめ、医学に対する基礎を固める充実した3年間を過ごすことで、その先の6年間の学びを、より深く実り多いものとしします。

■ 川崎医科大学



川崎医科大学は、本校と共に1970年に開学しました。附属病院が併設され、その各施設は大学の教育、研究の場として機能しています。



# 教育

独自の授業

## 『良医』をめざす 自覚を育む ユニークな 体験型授業



医師は知識や技術だけでなく、その人格をも厳しく問われる職業です。本校では、多彩な体験型の学びを取り入れた教育プログラムを構成。医学に関するさまざまな経験を通して、生徒一人ひとりの内面を磨き、良医となるための自覚を育みます。

### Doctor Road (ドクターロード)

1・2年次に実施している総合的な探究の時間が「Doctor Road (ドクターロード)」です。川崎医科大学や附属病院などで、医学に関する、横断的・総合的な学習を行うことを通して、「良医」を目指すためによりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成します。

#### おもなプログラム内容

現代医学教育博物館研修	現代医学教育博物館は、豊富な実物標本等で現代医学の全般が学べる施設。1年次の1学期に施設で研修し、医学の歩みを学びます。
医師へのインタビュー	1年次に生徒自らが診療科を選択し、質問事項を考えて、川崎医科大学附属病院・総合医療センターの医師に1対1でのインタビューを行います。
メディカルスクール・アワー	1・2年次に川崎医科大学の教員による高校生向けにアレンジした専門的で高度な授業を受けます。
旭川荘研修	社会福祉法人旭川荘は障がい者・高齢者のための関連施設。1・2年次に施設での実地体験を行い、医療福祉の現状を学びます。
テーマスタディ	2年次に3～4人のチームに分かれて、研究テーマを決め、調査や実験・観察を行い、発表します。医科大学の先生が審査員となり表彰します。
医科大学体験実習	2年次に2～3人のチームに分かれて、川崎医科大学の基礎・応用医学の研究室で解剖学や生理学などの体験実習を行い、実習レポートを作成します。
附属病院見学	2年次に川崎医科大学附属病院のMRI等の医療機器や高度救命救急センター及び医療環境を見学します。
卒業生講話会	医師として活躍している卒業生の本音の講演を聴きます。



医師へのインタビュー



テーマスタディ



医科大学体験実習



附属病院見学

### 苦手科目を克服する独自の補習システム

土曜日の午後に「60分×2コマ」の補習を全学年で実施。全学年で英語と数学に重点を置き、苦手な分野の克服を図ります。習熟度別のクラス編成により、各自のレベルに合わせた学習をすることができます。

### 自学自習力をサポートする学習システム

夕食・入浴後、学習室で同級生や先輩たちと一緒に勉強する「夜間一斉学習」の時間を設けています。生徒の自学自習力を手助けするためのもので、教員が交替で生徒の質問などに対応します。



学習室



#### 在校生生徒数 (2022年度現在)

	2022年度		
	男	女	合計
1年	14	15	29
2年	14	14	28
3年	16	9	25
合計	44	38	82

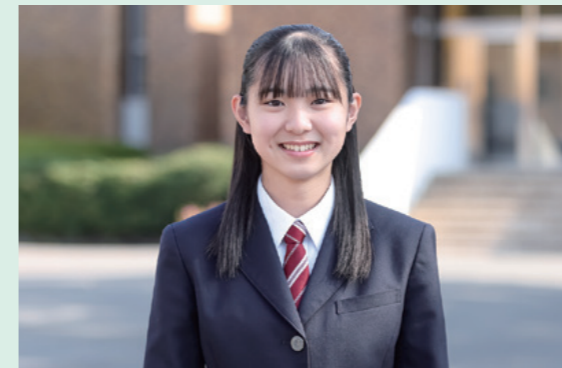
#### 県別在校生・卒業生一覧 (2022年度現在)

都道府県	在校生			卒業生			合計
	男	女	合計	男	女	合計	
北海道	0	0	0	16	6	22	453
青森県	0	0	0	1	3	4	
岩手県	0	0	0	1	0	1	
宮城県	2	1	3	4	8	12	
秋田県	0	0	0	2	0	2	
山形県	0	1	1	3	1	4	
福島県	0	0	0	2	1	3	
茨城県	0	0	0	12	3	15	
栃木県	1	0	1	6	2	8	
群馬県	1	1	2	18	5	23	
埼玉県	0	1	1	9	9	18	
千葉県	1	0	1	11	5	16	
東京都	4	6	10	16	7	23	
神奈川県	2	2	4	4	6	10	
新潟県	0	0	0	9	5	14	
富山県	0	0	0	19	9	28	
石川県	1	0	1	15	3	18	
福井県	1	1	2	21	4	25	
山梨県	0	0	0	0	1	1	
長野県	0	0	0	12	2	14	
岐阜県	3	2	5	19	17	36	
静岡県	3	1	4	29	8	37	
愛知県	3	2	5	49	30	79	
三重県	1	2	3	20	15	35	
滋賀県	0	0	0	17	14	31	
京都府	1	0	1	41	24	65	
大阪府	2	4	6	180	79	253	
兵庫県	4	4	8	125	64	189	
奈良県	2	0	2	32	24	56	
和歌山県	0	0	0	27	17	44	
鳥取県	0	0	0	9	7	16	
島根県	1	0	1	7	6	13	
岡山県	3	2	5	106	53	159	
広島県	1	0	1	54	30	84	
山口県	1	1	2	32	8	40	
徳島県	0	0	0	23	10	33	
香川県	1	2	3	46	21	67	
愛媛県	0	0	0	35	15	50	
高知県	0	0	0	2	2	4	
福岡県	4	3	7	66	23	89	
佐賀県	0	0	0	5	3	8	
長崎県	0	0	0	12	6	18	
熊本県	1	1	2	17	16	33	
大分県	0	0	0	4	5	9	
宮崎県	0	0	0	2	6	8	
鹿児島県	0	0	0	23	15	38	
沖縄県	0	1	1	1	0	1	
合計	44	38	82	1164	592	1756	1838

### 在校生からのメッセージ

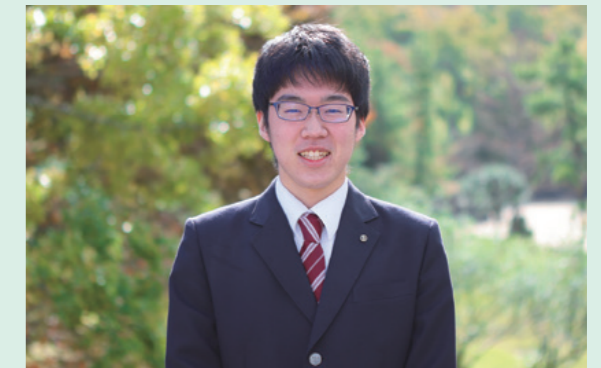
医学への興味と学力を育む環境で、  
信頼される医師をめざします。

香川県出身 高橋 梨来さん



医療に関する知識も学べる環境で、  
どんな医師をめざすのか考えます。

静岡県出身 岡田 昊樹さん



歯科医の父の姿を見て医師をめざすことを決意。高校から医学に触れられ、同じ目標の仲間と切磋琢磨して学べる環境に魅力を感じ、両親の勧めもあって入学しました。現代医学教育博物館の見学では病気や人体に関する多くの知識が得られ、医学への興味がさらに増しました。夜間一斉学習は集中して勉強ができ、先生方は分かるまで丁寧に指導してくださるので、学習環境には本当に恵まれています。先端の医療を学び、誰からも信頼される医師をめざします。

医師は病院だけでなく、様々な場所で活躍できる職業と知り、めざすことを決意。開業医の母に、この高校への入学を勧められました。川崎医科大学の先生の授業を受ける「メディカルスクール・アワー」では、医師になりたい気持ちをさらに高めることができます。また、夜間一斉学習は、学習室で集中して勉強ができ、医師をめざして学ぶには最適な環境です。患者さんと接するためのコミュニケーションスキルや最先端医療にも興味があり、多くのことを学んで将来を考えたいです。

# 教育

EDUCATION  
教育課程

## 目標を見据え『知・徳・体』を磨き、現役で医大生をめざす



生徒全員が川崎医科大学への進学をめざす本校では、目標に即した教育を実践しています。少人数制を導入し、生徒一人ひとりに目が行き届く環境のもと、高い学力を修得するための、きめ細かな指導を行っています。一方で、豊かな人間性を育むための「全人教育」を進め、運動部やボランティア活動への参加を取り入れています。高校生活を通して『知・徳・体』をバランスよく磨き、医科大学への現役合格をめざします。

### 『数・英・理』を重視した独自の教育プログラム

医科大学への進学を視野に入れた、本校独自の教育プログラムを構築。将来、医学を学ぶために重要な基礎となる数学・英語・理科に重点を置き、徹底指導しています。数学は問題演習による応用力の育成、英語は「読む・書く・聞く・話す」能力の総合的な育成、理科は物理・化学・生物の3科目すべての学力の育成を行います。プログラムは川崎医科大学との連携で実施するもので、医科大学附属高等学校ならではのノウハウが凝縮されています。

### 少人数制を導入し、習熟度別にきめ細かく指導

生徒一人ひとりの学力を着実に伸ばすために少人数制を導入しています。生徒一人ひとりの習熟度を確かめながら、必要に応じて、放課後や土・日の補習、個別指導を行います。

### 継続した繰り返しの学習で、着実に学力を伸ばす

本校のカリキュラムは、授業時間の多くを入試科目に充てています。特に医学を学ぶうえで重要な理数系科目は時間数を充実。継続的に繰り返し学ぶことで基礎力から応用力まで着実に身につけることができます。

### 一人一台端末(医科大学でも使用するiPad)を活用

教室や寮でもWi-Fiに接続してiPadを利用した学習を進めることができるようになっています。授業では、配布する資料を一部デジタル化して、必要なメモはApple Pencilで記入したり、音声や動画を記録して課題を提出したりするなど、より一層の活用を進めています。



英語授業



生物実験



個別指導などで自学自習をサポート



iPadの活用

### 授業時間外でも教員が個別に対応

本校には授業時間外でも勉強のこと、進学のことをいつでも教員に質問・相談できる環境があります。職員室の前にはホワイトボードや個別の学習スペースがあり、教員がその場ですぐに質問に答えたり、勉強を教えたりすることができます。疑問点をすぐに解決できるので、効率良く学習に取り組むことができます。



教員と生徒の距離が近いのも、本校の特長です。どんな質問や相談にも愛情を持って応える教員の情熱が、「医師への夢」をサポートします。

### 授業・指導方法



### 先生からのメッセージ



学習の継続から理解が生まれる。問題の全体像を見渡す目を持つ。

数学 山本 雅弘先生

球技などの部活動で繰り返し練習していると、知らぬ間に上達しているように、数学も勉強を続けていると突然分かることがあります。日々の訓練が土台となり、成果が表れるのです。問題の解法は一つだけではありません。数式を解くことだけに集中するのではなく、問題の全体像を見渡すことができるよう指導します。

意見を文章で伝えることが大切。辞書を引く習慣が学習を高める。

国語 石賀 朋美先生

作品の主題を自分の日常の人間関係に結び付けて考え、そこに自分の意見を持ち、文章で他者に伝えることが大切です。チーム学習でクラスメイトと意見を交換し、話し合います。他者の意見を参考にして考えを深めることが必要。辞書を引いて言葉を学ぶ習慣が語彙力や表現力の向上に繋がります。



暗記ではなく関連付けて理解。実験で観察力と思考力を育む。

生物 中島 晃一先生

事柄を暗記するだけでは系統的理解ができません。事柄を関連付けて考えることで論理的に理解でき、応用する力がつきます。実験では観察力を養うとともに、なぜこうなるのかという理由を考えることで思考力を育みます。演習問題は始めからすべての解答を出さないで、与えたヒントから答をまとめて表現する力を養います。

### カリキュラム (2023年度入学生の場合)

教科等	科目等	標準単位	1年	2年	3年	計	教科合計
国語	現代の国語	2	2			2	12
	言語文化	2	2			2	
	論理国語	4		2	3	5	
	古典探究	4		3		3	
地理・歴史	地理総合	2			2	2	4
	歴史総合	2		2		2	
公民	公共	2	2			2	2
	数学I	3	3			3	
数学	数学II	4	1	3		4	22
	数学III	3		1	4	5	
	数学A	2	2			2	
	数学B	2		2		2	
	数学C	2		1	3	4	
	数学演習	学校設定科目			2	2	
理科	物理基礎	2	2			2	25
	物理	4		3	3	6	
	化学基礎	2	2			2	
	化学	4		3	3	6	
	生物基礎	2	2			2	
	生物	4		3	3	6	
保健体育	理科演習	学校設定科目			1	1	10
	体育	7~8	3	3	2	8	
芸術	保健	2	1	1		2	2
	音楽I	2	△2			△2	
	美術I	2	△2			△2	
外国語	書道I	2	△2			△2	21
	英会話I	3	4			4	
	英会話II	4		4		4	
	英会話III	4			6	6	
	論理・表現I	2	2			2	
	論理・表現II	2		2		2	
家庭情報	論理・表現III	2			3	3	2
	家庭基礎	2	2			2	
総合的な探究の時間	情報I	2	2			2	2
	ドクターロード	3	1	2		3	
特別活動	ホームルーム	3	1	1	1	3	3
合計			36	36	36	108	108

\*芸術△は3科目から1科目選択

# 寮生活

DORMITORY & SCHOOL LIFE

男子寮・女子寮

自立心が養われ  
協調性が  
身につく  
全寮制



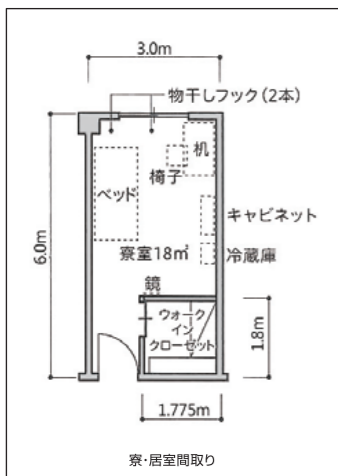
男子寮



女子寮



居室の様子



本校は全寮制。寮は学校敷地内にあり全室個室。全体集会ができるラウンジや共同キッチンなども完備しています。校舎棟へは専用通路でつながっており、セキュリティも万全です。寮生同士がコミュニケーションをとるスペースとして各学年ごとに談話室があり、それぞれが自主性、協調性をしっかり育める環境を整えています。3年間を仲間とともに過ごす中で、生徒一人ひとりが自分と向き合い、仲間同士で励まし合いながら、「医師になる」という目標に向かって前進しています。

## 【寮環境】



女子寮 / 玄関

舎監・寮職員がともに生活しながら生徒の生活を見守り、支えています。



男子寮 / 談話室

落ち着いた雰囲気、仲間と楽しく語り合えるスペースとして利用されています。



男子寮 / 個室

十分な広さを持つ個室は、集中して勉強できる快適な空間です。



女子寮 / ラウンジ

テレビやビデオなどの設備もあり、寮生たちの憩いのスペースとなっています。



女子寮 / 共同キッチン

飲み物やちょっとした食事はここで自炊できます。



女子寮 / 個室

プライバシーをしっかりと保てる個室。勉強も自分のペースでできます。

## 【共用施設】

### セキュリティシステムを完備し 生徒が勉強に集中できる、快適で安全な環境を整えています

本校は寮と校舎棟が同じ敷地内にあり、便利で快適な環境のもと、規則正しい生活を送ることで勉強に集中することができます。寮では、舎監・寮職員が生活を見守り、生徒たちの毎日をきめ細かくサポート。施設設備もカードキーなど万全のセキュリティシステムを完備し、安全を確保しています。



渡り廊下

同一敷地内にある寮から校舎棟まで通路でつながっているため、登下校も安心。



女子寮 / セキュリティドア

オートロック式で不審者の侵入を許しません。いつだれが通ったかも記録が残ります。

### 食堂や売店を完備。 学校生活を楽しく、便利にサポート

本校のサービス棟には食堂や売店・高島屋を完備。友達とおしゃべりをしながらランチタイムを過ごしたり、毎日の生活に必要なものを購入することができます。学校生活が楽しく、便利に過ごせるようにサポートしています。



サービス棟 / 食堂

食事は栄養のバランスをしっかりと考えたメニューです。(コロナ対策のため黙食中の写真です。)



サービス棟 / 売店

高島屋の売店。文房具や軽食などを販売しています。

## ■ 寮配置図



男子寮・女子寮は、校舎棟・体育館・食堂など主要な施設と全て通路でつながっていて、その都度外に出る必要がありません。

## 寮生からのメッセージ

一人で家事をして  
親のありがたさを実感。  
規則正しい生活に  
成長を感じています。

兵庫県出身 柳田 飛鳥さん



実家で母がしてくれていた洗濯や掃除がきちんとできるか不安でしたが、一人でも意外にできました。それでも毎日行っている母の苦労が分かり、ありがたかったです。物事を計画して行うことで規則正しい生活が送れるようになり、自身の成長を感じています。寮では仲良くしながら周囲に気を配り、一緒に過ごす時間と一人の時間との切り替えが大切。寮役員として後輩の手本になる言動を心掛け、生活指導や連絡事項の伝達にしっかり取り組みます。

# 寮生活

DORMITORY & SCHOOL LIFE

## タイムスケジュール

### 仲間と過ごす 3年間で 一人ひとりが 大きく成長



授業以外の時間も、生徒にとっては自分を成長させるための大切な機会です。同じ志を持つたくさんの仲間と助け合い、生活していくことで、学力だけでなく生徒を一人の人間として成長させてくれます。

平日	時間
起床	7:00
課題配付・自習	7:15
点呼・登校・朝食	8:00
ショートホームルーム	8:35
	8:40
午前の授業	
昼食・休憩	12:30
	13:20
午後の授業	
部活動	16:10
夕食・入浴	17:30
学習準備	19:05
	19:15
夜間学習	
就寝準備等	22:30
点呼・消灯	23:00

**登校**

「おはよう」の元気なあいさつから1日がスタート。寮を出る時は、自分のネームプレートを裏返します。これが「外出中」のサイン。

**昼食**

昼休みは、楽しくランチ。メニューは日替わりで、バリエーションも豊富。「おいしい」と評判です。(コロナ対策のため黙食中)

**入浴**

寮に戻ってゆっくり入浴。昼間の疲れを癒して気分をリフレッシュ。夜間学習に備えます。

**授業**

みんな真剣なまなざしで授業に集中。少人数だから丁寧に教えてもらえるし、分からないところはすぐに質問できます。

**部活動**

生徒全員が運動部に参加しています。好きなスポーツに熱中できることと、仲間同士で触れ合えるのが大きな楽しみです。

**自学**

寮の「点呼・就寝」は23時。この時間を過ぎても勉強に取り組む生徒もいます。「自学」の習慣が身につくのも本校の特長。

### 食事のプロが生徒の健康を管理。味も、栄養も、ボリュームも大満足

寮の食事は栄養士と調理師が管理し、成長期にある生徒たちの健康をしっかりサポートしています。メニューは日替わりで、和・洋のバリエーションも豊富。味・ボリュームともに好評で、食事の時間はいつも生徒たちの笑顔であふれています。コロナ禍の中では、食堂の各テーブルに飛沫感染予防用のアクリル板を設置しています。



### ある週の献立

	月	火	水	木	金	土	日
<b>朝食</b>	ホットドッグ オムレツ・ヨーグルト ごはん・生野菜・チーズ 生卵・のり・牛乳	サケ塩焼き だし巻き玉子・ひじき煮 味噌汁・ごはん・生野菜 温野菜・生卵・のり・牛乳	カレーパン・ウインナー ヨーグルト・スープ ごはん・生野菜・チーズ 生卵・のり・牛乳	鱈の塩焼き・メンチカツ 昆布豆・味噌汁 ごはん・生野菜・温野菜 生卵・納豆・のり・牛乳	ツナマヨトースト フライドポテト・ヨーグルト スープ・ごはん・生野菜 チーズ・生卵・のり・牛乳	ししゃも・ふくさ焼 切干大根煮・味噌汁 ごはん・生野菜・温野菜 生卵・納豆・のり・牛乳	食パン・ミニクロワッサン ヨーグルト・ごはん 生野菜・チーズ 生卵・のり・牛乳
<b>昼食</b>	チャーシュー麺 肉まん 野菜サラダ	焼き肉風野菜炒め もやしのナムル 豚汁	油淋鶏 中華ポテト かき玉スープ	ビビンバ ビッグ肉団子 わかめスープ	ミートスパゲッティ ハムサラダ バナナ	鯖電田揚げ マカロニサラダ みかんゼリー かき玉汁	オムライス 野菜サラダ コンソメスープ
<b>夕食</b>	さんま塩焼き 鶏の天ぷら 春雨サラダ 抹茶プリン・味噌汁	ハンバーグきのこソース ゴボウサラダ オレンジ コンソメスープ	ビーフシチュー ツナサラダ ショートケーキ	肉じゃが ホタテ風味フライ キウイ 味噌汁	タンドリーチキン エビフリッター アップルパイ コーンクリームスープ	酢豚 カニシューマイ マンゴーゼリー	白身魚のマリネ 鶏肉野菜巻き ミニエクレア コンソメスープ



### 寮の先生からのメッセージ



コミュニケーション能力と自主性を身につける。  
自学と自律の習慣が人を大きく成長させます。

男子寮 舎監 河野 英資先生

教室は学力を、寮は人間性を高める場です。一人ひとり異なるバックボーンを持つ生徒が全国から集まり、共に生活します。寮生活で身につけてほしいのは互いを認め合い、他者と協調する姿勢。自分の考えを伝え、相手の考えを理解するためのコミュニケーション能力が必要で、それは医師になっても患者さんとの信頼関係やチーム医療の形成に欠かせません。一方で寮生活は自立を促す場でもあります。規則正しい生活で自主的に勉強に励み、身の回りのことを行う過程で「自学」や「自律」の習慣が身につきます。「医師になる」という共通目標が高いモチベーションとなり、互いに切磋琢磨しながら学力を高め、人間性を磨いていきます。3年間で意志を確立し、人として大きく成長するのです。

# 学校生活

SCHOOL LIFE

スクールライフ

## 部活動や学校行事などすべての経験が将来の糧に



全人教育の一環として、本校では生徒全員の運動部参加を義務付けています。スポーツを通じて身体を鍛え、人間性を養うことは、高校生にとっても、将来医師として活躍するためにも重要です。また、学校行事など仲間と共有する時間は、高校生活の大切な思い出となり、将来の大きな糧となるはずです。

### ホームページ、広報誌「いくさか」、 「学年通信」で情報を発信

生徒たちの学びの様子、学校行事などのスクールライフをホームページ（「附属高校の今」等）や広報誌「いくさか」「学年通信」を活用して情報を発信しています。また、年3回実施する保護者懇談会で成績状況や指導方針を保護者へ伝えています。



広報誌「いくさか」、  
「学年通信」

### 健康な身体づくりと人間性の育成 運動部への全員参加を義務付け

スポーツを通じての健康な身体づくりと豊かな人間性の育成をめざし、全員が運動部に所属しています。現在、テニス部、サッカー部、陸上部、バスケットボール部、剣道部、バドミントン部、バレーボール部の7つの部があり、授業後に活動を行っています。



バスケットボール部



剣道部



サッカー部



バドミントン部



テニス部



バレーボール部

### 年間スケジュール(予定)

4 APRIL	5 MAY	6 JUNE	7 JULY	8 AUGUST	9 SEPTEMBER	10 OCTOBER	11 NOVEMBER	12 DECEMBER	1 JANUARY	2 FEBRUARY	3 MARCH
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 入学式</li> <li>● 1学期始業式</li> <li>● 新入生歓迎行事</li> <li>● 現代医学教育博物館研修(1年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一斉帰省</li> <li>● メディカルスクール・アワー開始(2年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 修学旅行(2年)</li> <li>● 体育祭</li> <li>● 医師へのインタビュー(1年)</li> <li>● PTA総会・保護者懇談会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医科大学体験実習(2年)</li> <li>● 1学期終業式 夏季休業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2学期始業式</li> <li>● メディカルスクール・アワー開始(1年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一泊研修(1年)</li> <li>● スポーツ大会</li> <li>● 一斉帰省</li> <li>● 旭川荘研修(1・2年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学園祭・文化発表会</li> <li>● 心肺蘇生法講習会(1・2年)</li> <li>● 附属病院見学(2年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大原美術館見学(1年)</li> <li>● 保護者懇談会(学年別)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医科大学 学校推薦型選抜(3年)</li> <li>● 2学期終業式 冬季休業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 3学期始業式</li> <li>● 駅伝大会</li> <li>● 医科大学入学前研修(3年)</li> <li>● 保護者懇談会(学年別)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スポーツ大会</li> <li>● テーマスタディ発表会</li> <li>● 医科大学入学前研修(3年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 卒業式</li> <li>● 3学期終業式 春季休業</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 課題考査(1・2年)</li> <li>■ 実力考査(3年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 中間考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実力考査</li> <li>■ 校外模試(3年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 期末考査</li> <li>■ 校外模試</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 課題考査(1・2年)</li> <li>■ 実力考査(3年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 中間考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実力考査</li> <li>■ 期末考査(3年)</li> <li>■ 校外模試(1・2年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 期末考査(1・2年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 課題考査(1・2年)</li> <li>■ 実力考査(1・2年)</li> <li>■ 校外模試(1年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 校外模試(2年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 期末考査(1・2年)</li> </ul>	



### 新入生歓迎行事

新入生に本校での学校生活に早く慣れてもらおうと、春に開催される行事。先輩や先生と7~8人ずつのグループになり、様々な活動を通じて、お互いの交流を深めていきます。開催場所は毎年変わります。



### 修学旅行

鹿児島・沖縄方面を訪れ、過去の悲惨な戦争を学ぶ平和学習、自然や文化などに親しむ体験を通じ、見聞を広めます。また、創設者川崎祐生先生の地を訪れ、良医となる決意を新たにします。



### 体育祭

生徒の出身地別に東軍・中軍・西軍に分かれて、対抗戦を実施。リレーやダンスなどさまざまな競技で競い合います。体育祭の後に開かれる後夜祭も思い出に残る楽しい時間です。



### 文化発表会

保護者を招いて、日頃の練習や活動の成果を見てもらう日です。合唱をはじめ、文化クラブの発表・展示などを行います。



### 駅伝大会

1・2年生全員がチームに分かれ、学校外周を1周する1.7kmのコースでタイムを競います。駅伝ならではのプレッシャーを感じながらも、次の選手にたすきを繋ぐために、最後まであきらめずに走ります。



# 医の道をすすむ!

親子トーク

## 励まし合える仲間の存在 寮生活で人間力がアップ

父 至隆にとっては父親も祖父も医師だからこの世界に馴染み深いけど、いつから医師を目指すようになったの?

息子 いつの間にか自然にという感じかな。お母さんの強い希望もあったからかもしれない。人の命を救うことができる医師は、カッコいい職業だと思うようになった。

## 集中できる少人数の環境と実践的な学びで大きく成長

父 確かにお母さんは、至隆のことをすごく応援していたね。

息子 塾の送迎やお弁当作りなど、いつも一生懸命サポートしてくれて本当にありがたかったよ。



父 進学先に川崎医科大学附属高校を選んだのはどうして?

息子 一番は、川崎医科大学への進学率が圧倒的に高い点。その年にもよるけど例年9割以上川崎医科大学へ進学するという数字が、とても魅力的に感じた。

父 大学受験へのプレッシャーが緩和されることで高校生活はのびのび過ごせたみたいだね。寮生活はどうだった?

息子 友人と励まし合える環境がこんなに心強くて初めて知ったよ。

テスト前は徹夜覚悟で一緒にラウンジで勉強に打ち込んだりした。

父 寮生活は人によって合う、合わないがあると思うんだけど、至隆にはすごく合ってたみたいだね。帰省するたびに一段と男らしくなった感じがして、頼もしく思っていたよ。

息子 バスケットボール部の活動も楽しかったし、授業も実践的で得るものがすごく大きかった。月に一度、医科大学の先生の講義を受けたんだけど、普段の治療や手術についてリアルに話してくれて、「医師になりたい」という気持ちが高まりました。難解な手術をこなした話を聞いた時はすごいなって思ったし、医師を目指すモチベーションにつながった。比較的少人数なので、集中して授業に取り組めるのも附属高校のいいところだと思う。

父 医療の世界は日進月歩。現場で働きさまざまな医師の声を聞けるのは、とても貴重だね。私たちの頃とは時代が違うし、至隆たちは今後学ばなければいけないことが、もっとも増えていくと思う。すべての分野を同様に深く学ぶのは難しいから、自分に必要な知識・技術をまずは率先して身につけてほしいな。それから、大学に入って

も運動は続けてほしい。当直もこなせる体力づくりと、今後困難にぶつかっても乗り越えられるような強い精神力を養ってほしいと思ってる。

息子 そうだね。根性を身につけて、ストレートで大学卒業、ストレートで国家試験突破!入学時の新入生代表も務める予定だし、気合いを入れて大学生活を送りたいと思ってる。

父 医師としての知識・技術はもちろんだけど、コミュニケーション力も必須。これから出会うたくさんの素晴らしい先輩や友人から多くのことを学んで切磋琢磨し、患者さんの立場になって物事を考え、寄り添うことのできる人間力の高い医師を目指してほしいな。



気合いを入れて大学生活スタート!  
根性を身につけていきたい

周りの人の良いところを吸収し  
患者さんに寄り添える医師に

(父)河内山 敬二さん

川崎医科大学附属高校、川崎医科大学卒業。複数の病院で勤務医経験を積み、2002年に医療法人河内山医院を継承開業する。

(息子)河内山 至隆さん

2022年3月川崎医科大学附属高校卒業、2022年4月川崎医科大学入学。高校在学中はバスケットボール部に所属し文武両道を実践。

※このページの取材は、2022年3月に行われたものです。

## 卒業生からのメッセージ



を  
て  
ぶ  
医  
大  
生  
良  
め  
ざ  
し  
て  
学  
び  
医  
大



寮役員を務めて人として成長。  
医師になって生かせる経験に。

川崎医科大学6年  
2018年卒業 大阪府出身 姫野 莉子 さん

川崎医科大学附属高校で過ごした3年間は、とても貴重な時間でした。私に自主性が身につく、自分の意見が言えるようになったのは高校生活の賜物だと思っています。同じ医師を目指す仲間から刺激を受けて、自主的に勉強する習慣が身につきました。高校時代の研究発表の経験を大学の発表で生かすことができ、連携プログラムの素晴らしさを実感しました。一人暮らしを通じて自立心が培われるとともに、親への感謝の気持ちが深まりました。そして何でも相談できる友人がいたからこそ乗り越えられたのだと思います。

高校での最も大きな経験は寮役員を務めたことです。生活指導や連絡事項の伝達などを担い、指示や依頼を行います。その役目を経験したことで、自分の意見が言えるようになりました。医師になって現場のスタッフをまとめたり、患者さんとコミュニケーションを図る際に生かせると思います。患者さんの心に寄り添い、痛みや苦しみ分かる医師を目指したいと思っています。



第一線で活躍する  
医師

1期生として得た学びと経験は、  
50年を経た今も医師の仕事に生きています。

特定医療法人 万成病院 理事長・院長  
1973年卒業 岡山県出身 小林 建太郎 さん

川崎医科大学附属高校は1970年に開校し、私は1期生として学校の歴史をつくるという熱意を抱いて入学しました。寮で仲間と寝食をともにして学んだのは、人への配慮とコミュニケーションの大切さです。医科大学の先生に「附属高校の出身者は人間関係を形成する力に優れている」と評価されたのも寮生活の賜物です。当時育まれた力は医師となって患者さんとご家族、多職種のスタッフ、地域の方々との関係づくりに生かされています。先生方は生徒一人ひとりの意欲を高める指導が巧みで、私は試験で満点以上の評価をしてもらえたことがうれしく、その後の意欲に繋がりました。高校の課程から将来どんな学びが必要かを見越した指導をされていたと思います。

入学から50年を経て、1期生は各地の医療機関で中心的な役割を担う立場となり、全国的な交流も盛んです。医療は日々大きく進歩しています。それでも医師が患者さんを診断し、両者の信頼関係のもとに治療が行われることに変わりはありません。医師には知識、技能、人間力が不可欠で、それらをバランスよく有することが大切だと思います。そのための基盤が、この9年間で築かれると考えます。



## 施設紹介

### Facilities & Environment

# 静かな環境の中で集中して仲間と共に学ぶ。

本校は市街地から少し離れた豊かな自然の中にあり、  
静かな環境で勉強に集中することができます。  
また全ての施設は通路でつながっているため、移動の度に外に出ることはなく、  
安心安全な学校生活を送ることができます。  
※休日には、自転車等で学校外へ出かけることも楽しみです。

体育館



体育館

放課後に部活動で汗を流すのがいつも楽しみです。

福岡県出身 明石 真希 さん



グラウンド



テニスコート

広いキャンパスは自然がいっぱいで空気も澄んでいます。

東京都出身 高松 壮 さん



学校標識

サービス棟



売店[サービス棟]



食堂[サービス棟]

男子寮

女子寮

料理のバリエーションが豊富で味もおいしいので、満足しています。

奈良県出身 笠原 遼 さん



校舎棟



マルチメディア教室[校舎棟]



化学教室[校舎棟]



図書室[校舎棟]

居心地がいいので休憩時間にもよく立ち寄ります。

宮城県出身 渡邊 那海 さん

